

漁船海難ゼロへ！

平成26年7月七管内漁船海難 計17隻

(衝突:7隻 浸水:4隻 乗揚:3隻 機関故障:2隻 火災:1隻)

【衝突海難の概要】

・漁船A丸は貨物船B丸と衝突、A丸船長は船外に投げ出され、海上で漂流しているところを発見されたが、帰らぬ人となった。

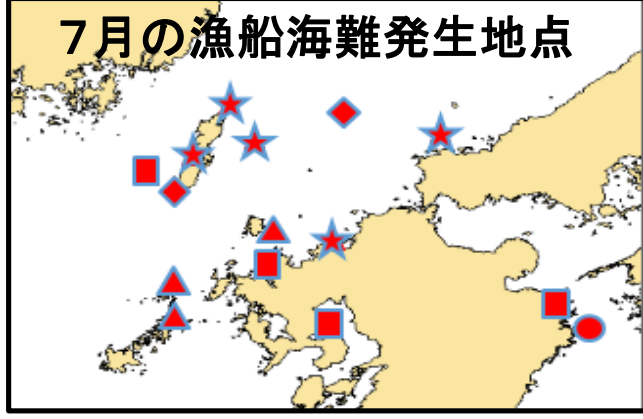
【浸水海難の概要】

・軸封装置のパッキン押さえボルトが折損したことにより、同部から浸水したものの。
・係留中、船尾管劣化部から浸水後、沈没したものの。



漁船海難隻数 (速報値)		
衝突	★	7
乗揚	▲	3
浸水	■	4
機関故障	◆	2
火災	●	1
合計17隻		

県別 (内訳)	
山口県	2
福岡県	3
佐賀県	1
長崎県	9
大分県	2

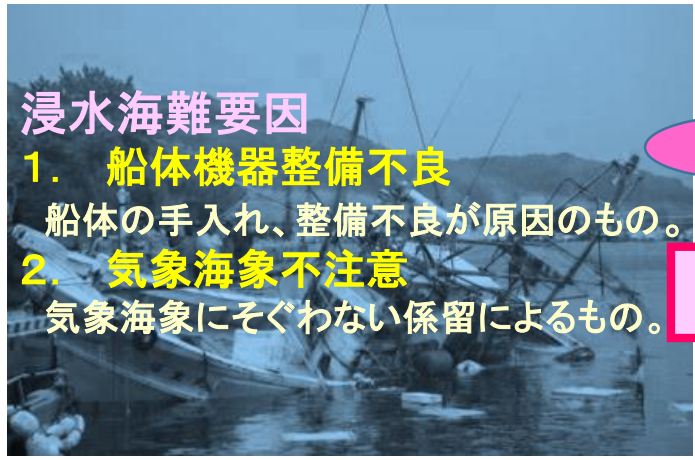


海難対策シリーズ3: 浸水

浸水海難とは？・・・船外から海水が浸入し、航行に支障が生じる状態。

浸水海難要因

- 1. 船体機器整備不良**
船体の手入れ、整備不良が原因のもの。
- 2. 気象海象不注意**
気象海象にそぐわない係留によるもの。



注意点

普段からの整備・管理が重要です！！

☆船体の定期的な点検及び発航前点検(ビルジ量の確認、船倉への浸水、船尾管等の確認)を実施し、適切な船体整備を行うこと。
☆台風や高潮時には適切な係留管理を行うこと。

衝突海難が続発しています！

7月の漁船海難隻数は17隻(内衝突7隻)発生し、衝突海難により1名の船長が亡くなりました。危険はすぐそばに潜んでいます。
常時(操業時・航行時)適切な見張りを行いましょー！！